

留学報告書

磯野 文香

2020年1月

カリフォルニア大学パークレー校に留学している磯野と申します。PhD 課程の5年目前半にあたる2019年の7月から12月までの状況を報告させていただきます。

1 研究

5月に参加した学会 CLEO (Laser Science to Phoonic Applications) に引き続き、10月にはアメリカ物理学会の年会 (61st Annual Meeting of the APS Division of Plasma Physics) でチームの進捗を口頭発表をしました。学会はフロリダ州の Fort Lauderdale で一週間にわたって行われました。今まで Fort Lauderdale という街の名前を聞いたことがありませんでしたが、マイアミから北に車で1時間離れたところであり、世界で一番大きい水上ボートショーが行われることで知られています。フロリダは初めてでしたが、特にマイアミはカリフォルニアやニューヨークとは全く違って、温暖でリラックスした雰囲気が街中に漂っていました。特にサンフランシスコに比べて街がとても綺麗なことが一番の驚きでした。学会中はプラズマ物理に関する発表を聞くだけでなく、参加していた学生たちと交流する機会もあり、人脈も広がり大変有意義な滞在となりました。

私が所属するプロジェクトでは3人で3部屋分の大掛かりな装置を作り上げています。今学期、ようやく3部屋目の装置が完成に近くなり、2020年にはようやく目的の実験が行えそうです。1部屋目の装置は私がほぼ1人で2年間かけて作り上げたので、ようやく実験装置の全体像が見え始めたことにホッとしています。今学期は実験装置製作に並行してシミュレーションにも力を入れ始めました。年末に途中経過を研究所の科学者方30名ほどの前で発表し、多くの方からとても面白い内容だったと言ってくださったのが大きな励みとなりました。2020年には実験と並行してこの研究内容を何らかの形で発表できる形にしたいと思っています。

2 私生活

登山は趣味の一つとして、最低でも一年に一度は高い山に登っていますが、今年は7月にアフリカ最高峰のキリマンジャロ山に挑戦することを決め、無事7月1日に登頂することができました。キリマンジャロ山はタンザニアとケニアの国境に位置し、標高5885mです。富士山は3776mで、私が今まで登った一番高い山はアメリカ本土最高峰のホイットニー山4421mだったので、キリマ



米国物理学会（プラズマ物理の部）の会場横には多くのプライベートボートが泊まっていました。

ンジャロ山の標高は未知の世界でした。1800m から毎日 1000m ずつ登っていき、4 日目の朝に登頂することができました。幸い頭痛は全くありませんでしたが、4400m あたりから体が重くなり、登頂アタックを開始した夜中は氷点下 10 で風が強く、精神的な強さを問われる登山となりました。登頂した時の感動はひとしおで、キリマンジャロ山での五日間は人生で一生に一度の貴重な経験となりました。登頂後にはタンザニアのセレンゲティ国立公園でサファリをし、大自然でライオン、象、キリン、チーター、その他たくさんの動物が伸び伸びと共生している姿を目の当たりにしました。東アフリカへの旅行は思ったほどハードルは高くないので、是非いろんな人にこの大自然を見て欲しいなと思いました。

3 最後に

改めて、留学を支援してくださっている船井情報科学振興財団の皆様にお礼申し上げます。博士課程も 5 年目に入り焦りを感じることもありますが、大きな成果にむけて努力していると信じて頑張っていきたいと思います。



キリマンジャロ山に登頂しました